平成24年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年3月9日

上場会社名　株式会社 くらコーポレーション　　上場取引所　東
コード番号　2695　URL　http://www.kura-corpo.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 田中　邦彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長　(氏名) 久宗　裕行　TEL 072-368-6211

四半期報告書提出予定日　平成24年3月15日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年10月期第1四半期の業績(平成23年11月1日～平成24年1月31日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年10月期第1四半期	19,444	5.8	919	△6.9	983	△13.9	440	△4.8
23年10月期第1四半期	18,374	3.4	987	△32.4	1,142	△25.1	462	△47.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年10月期第1四半期	21.29	―
23年10月期第1四半期	22.36	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年10月期第1四半期	31,167	18,081	58.0
23年10月期	30,630	17,889	58.4

(参考) 自己資本　24年10月期第1四半期　18,081百万円　23年10月期　17,889百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年10月期	―	0.00	―	12.00	12.00
24年10月期	―				
24年10月期(予想)		0.00	―	12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年10月期の業績予想(平成23年11月1日～平成24年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	38,262	5.5	1,322	△14.8	1,454	△18.5	718	△6.7	34.71
通期	80,000	7.5	3,733	27.1	4,000	12.3	2,039	35.0	98.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年10月期1Q	20,699,800 株	23年10月期	20,699,800 株
② 期末自己株式数	24年10月期1Q	― 株	23年10月期	― 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年10月期1Q	20,699,800 株	23年10月期1Q	20,699,800 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 2「業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 2
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 2
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 2
（３）追加情報 …… 2
３．四半期財務諸表 …… 3
（１）四半期貸借対照表 …… 3
（２）四半期損益計算書 …… 4
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 5
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 5

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第１四半期累計期間（平成23年11月１日～平成24年１月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災とそれに起因する福島原発事故の影響による停滞から、復興需要等により持ち直しの動きが見られる一方、欧州諸国の財政危機による信用不安や米国の景気低迷等により世界経済が減速する中、歴史的な円高が継続しており、デフレの影響や雇用情勢の悪化懸念等、依然として先行き不透明な状況のまま推移しております。

外食産業においては、平年より少し冷え込んだ天候の影響もあり、麺や鍋などの季節商品が好調であったことにより、外食全体では前年売上を上回る状況となりましたが、回転寿司業界では売上が前年実績を下回り、依然として厳しい状況が続いております。

このように厳しい経営環境が続く中、農・水・畜産物等食材の放射能汚染に対する消費者の不安は大きく、「食の安全・安心」を求める消費行動が一段と鮮明になってきております。当社は、このような消費者の期待にお応えするため、飛沫する空気中の様々なウイルスから商品を守り、鮮度を飛躍的に維持することができる寿司皿カプセル「鮮度くん」を長年試行錯誤を重ね研究開発してきた結果、完成を果たし、インフルエンザやノロウイルス等の流行する11月までに全店配置を完了させることができました。「何もつかない。誰もふれない。」をキャッチコピーにした「鮮度くん」は、同業他社との差別化を一歩進めることとなり、必ずや消費者のご支持を得られるものと考えております。

販売促進面では、11月は福井県と高知県の「ご当地フェア」、12月は恒例「極上かにフェア」、１月には「極上まぐろフェア」の開催とともに、お子様に大人気の「イナズマイレブン」とタイアップし、オリジナルグッズをご提供するなど、顧客来店の動機づけを図る様々な取り組みを行ってまいりました結果、回転寿司業界苦戦の中にあって、既存店売上高も上向き、１月には９ヶ月振りに前年比100％を超えるまでに回復してまいりました。

また、店舗開発につきましては、西日本地区で４店舗、東日本地区で２店舗の計６店舗を新規出店いたしましたので、当第１四半期会計期間末の店舗数は、全て直営で291店舗となりました。

以上の結果、当第１四半期累計期間の業績は、売上高194億44百万円（前年同期比5.8％増）、営業利益９億19百万円（同6.9％減）、経常利益９億83百万円（同13.9％減）、四半期純利益は４億40百万円（同4.8％減）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第１四半期会計期間末の総資産額は311億67百万円となり、前事業年度末と比較して５億36百万円の増加となりました。これは、主に新規出店や改装等により積極的に設備投資を行った結果、固定資産が５億24百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、130億85百万円と前事業年度末と比較して３億43百万円の増加となりました。これは、主に買掛金やリース債務が増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、利益剰余金の増加により180億81百万円となりました。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成23年12月14日に公表いたしました第２四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（３）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第１四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年10月31日）	当第１四半期会計期間 （平成24年１月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,144,898	4,063,578
原材料及び貯蔵品	347,501	305,325
その他	756,020	891,555
流動資産合計	5,248,420	5,260,460
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	10,014,377	10,043,723
その他（純額）	6,371,264	6,684,255
有形固定資産合計	16,385,642	16,727,978
無形固定資産	902,226	936,703
投資その他の資産		
関係会社株式	407,065	407,065
長期貸付金	3,230,469	3,292,717
差入保証金	3,286,749	3,333,950
その他	1,170,303	1,208,204
投資その他の資産合計	8,094,586	8,241,936
固定資産合計	25,382,456	25,906,618
資産合計	30,630,876	31,167,078
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,919,465	3,086,420
1年内返済予定の長期借入金	400,000	400,000
未払金	2,650,595	2,616,133
未払法人税等	499,550	443,705
その他	1,257,446	1,499,750
流動負債合計	7,727,058	8,046,009
固定負債		
長期借入金	1,000,000	900,000
リース債務	2,751,225	2,865,331
資産除去債務	941,407	965,352
その他	321,935	308,875
固定負債合計	5,014,567	5,039,559
負債合計	12,741,626	13,085,569
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,005,329	2,005,329
資本剰余金	2,334,384	2,334,384
利益剰余金	13,549,536	13,741,795
株主資本合計	17,889,250	18,081,509
純資産合計	17,889,250	18,081,509
負債純資産合計	30,630,876	31,167,078

（２）四半期損益計算書
（第１四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成22年11月１日 至　平成23年１月31日）	当第１四半期累計期間 （自　平成23年11月１日 至　平成24年１月31日）
売上高	18,374,022	19,444,006
売上原価	8,569,437	9,045,761
売上総利益	9,804,585	10,398,245
販売費及び一般管理費	8,817,097	9,479,232
営業利益	987,488	919,013
営業外収益		
受取利息	15,084	16,082
受取手数料	55,896	58,002
受取保険金	46,716	―
為替差益	561	―
物販収入	26,000	13,436
雑収入	42,460	8,510
営業外収益合計	186,719	96,033
営業外費用		
支払利息	17,107	20,024
為替差損	―	3,188
物販原価	11,900	6,164
雑損失	3,038	2,261
営業外費用合計	32,047	31,638
経常利益	1,142,161	983,407
特別損失		
固定資産除却損	1,221	1,478
店舗閉鎖損失	―	2,632
減損損失	―	87,146
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	311,193	―
特別損失合計	312,414	91,257
税引前四半期純利益	829,746	892,149
法人税、住民税及び事業税	403,000	415,000
法人税等調整額	△36,070	36,493
法人税等合計	366,929	451,493
四半期純利益	462,817	440,656

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。